(1)		空声 明学 坎	開講年度	亚世20年度 /2)017年度\	授業科目	情報処理基		
		等専門学校		平成29年度 (2	101/牛/支)	」以来付出	月秋火吐生茶	火/央日11	
科目基礎	当 育 報	10010			科目区分	± / \2	210		
科目番号 0010							専門/選択		
授業形態 講義 機構 供物			<i> </i>	15 1 14 1			履修単位: 1		
開設学科			機械・制御システム工学専攻			専1			
開設期			後期			2			
教科書/教	材		配布資料						
担当教員									
到達目標	Ę								
Visio(高度 到達目標: 1.UNIXの 2.プログラ 3.Visioで電	な機能を 基礎を習 ラミング言 電気回路,	持つ図形作成 得する。 言語を用いて,	ドの基本やシェルス ソフト)の初級習得 基本的なプログラミ ク図などが作成でき	ミングができ,課題		o			
ルーブリ	リック		T		I		1		
				理想的な到達レベルの目安標準的な到達レベルの目安			未到達レベル	の目安	
評価項目1			きる。	題解決に有効利用で 	UNIXの基礎を修		左記に建して	こいない。	
評価項目2			解決ができる。_	み合わせて,課題	UNIX環境のプロ 活用できる。	グラミング環境:	を左記に達して	こいない。	
評価項目3			きる。	課題解決に活用で	VISIOを用いて間 ットワーク図なる		左記に達して	こいない。	
学科の到	」達目標	項目との関	係						
教育方法	等								
授業の概要 デッ修でた。 一般である。また。 授業の進め方・方法 一般である。 授業の進め方・方法 一般である。 一般である。 ではいるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			を研究の場でのよりに た、シェルスクリプト 研究の場でのよりプト 研究の場でのよりプト では、シェ・各課題へ対して では、まな料は「時 では、15単に前期に でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・は でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、アドバイス・な でいて、ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	関与する。 寝:情報処理基礎演習Iあるいは情報処理応用演習Iにおいて学修したコンピュータリテラシー能力を基礎として 研究の場でのより高度なコンピュータ技術の基礎となるUNIXの体系やコマンドの基本的な技術について理解す シェルスクリプトについても学ぶ。 寝:情報処理基礎演習Iあるいは情報処理応用演習Iにおいて学修したコンピュータリテラシー能力を基礎として 研究の場でのより高度なコンピュータ技術の基礎となるUNIXの体系やコマンドの基本的な技術について理解す シェルスクリプトについても学ぶ。 「5法:各課題へ対する理解と成果(レポートと作品)80%+発表(相互評価)20% 上意:本科目は「時間外の学習を必修とする科目」である、1単位あたり授業時間として30単位時間開講するが に15単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 ドバイス:前期に情報処理基礎演習 I あるいは情報処理応用演習 I のどちらを履修していても履修できます。 情報処理基礎演習 I (専 1 年)あるいは情報処理応用演習 I (専 1) アドバイス:授業開始20分以内であれば遅刻とし、遅刻3回で1欠課とする。					
授業計画	Ū								
<u> </u>		週	授業内容			週ごとの到達目標			
後期		1週	ガイダンス			ECCODED.	ж.		
		2週	数式処理ソフトma	vima					
				aximaによる数式処理					
		3週	方程式, 連立	方程式,連立方程式,行列,微積分					
	3rdQ	4週	Phunによる物理シミュレーション(1)						
		5週	Phunによる物理シ	Phunによる物理シミュレーション(2)					
		6週	勿理シミュレーション報告会						
		7週	CentoOS入門	ientoOS入門					
		8週	CentoOS上での環境	CentoOS上での環境整備					
		9週	CentoOS上でのCプログラミング(1)						
		10週		CentoOS上でのCプログラミング(2)					
		11週		CentoOS上でのCプログラミング(3)					
	4thQ	12週	Unixに関する基礎知識, ジョブ制御, シェル						
	'''''	13週	ファイルシステム,各種コマンド						
		14週		CentoOSによるシェルプログラミング					
		15週	シェルによるファイル操作						
		16週	Visioの基本操作						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標									
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目			到:	達レベル 授業週	
評価割合	````	1					1,22	, · · · · · · · · · · · ·	
		 式験	発表	相互評価	態度	ポートフォリス	課題	合計	
総合評価割			20	0	0	0	80	100	
基礎的能力 0			0	0	0	0	0	0	
専門的能力 0			20	0	0	0	80	100	
	分野横断的能力 0		0	0	0	0	0	0	
ノノエゴ (円位)[ロ)	רליםמי	,	10	10	10	Įν	lo lo		